

第66回企画作業部会の検討事項の報告について

I. 第66回企画作業部会（議事要旨）

1. 日時：令和4年2月18日（金）13:00～14:35

2. 場所：Web会議

3. 議題：

1. 令和4年度食品成分委員会下での検討体制について
2. 新規収載値の公開を含めた取り扱いについて
3. 成分表の電子的取り扱いに関する見直しについて
4. 依頼による食品分析データの受入れの見直しについて
5. その他

4. 議事要旨

議題に先立ち、企画作業部会の公開の取り扱いについては、科学技術・学術審議会資源調査分科会食品成分委員会の公開手続きについて（令和3年12月21日食品成分委員会決定）等に基づき、原則、食品成分委員会に議事概要等の事後報告をもって公開とすることが確認された。

(1) 議題1について

- ・企画作業部会で、第11期食品成分委員会の課題のうち、食品間で横断的な事項について検討すること
- ・ワーキンググループを設置し、新規収載値(案)等を検討すること
- ・委託事業により、専門ワーキンググループを設置し、新規収載値(案)等の検討、英語版または翻訳機能の活用等の検討、食品成分データの利用ニーズ調査、成分表のオープンデータの利活用のための検証調査を行うこと

について了承された。

(2) 議題2について

- ・更新される成分値については、それぞれ更新される理由や更新時期等が重要となるので、ある程度類型化したメタデータ（付帯情報）を付記すべき
- ・収載予定値案のフォーマットは今後の議論で決めていくのか

との意見があり、意見を踏まえた案について、メールで委員に照会することとなった。

(3) 議題3について

- ・電子的取り扱いを見直すに当たり、収載値と分析値の扱いは変えるべき。過去の分析値には個々に、試料の購入指示や調理指示等のメタデータが付されており、なるべく多

くの情報をデータベースに組み込んでいくことが重要との意見があり、継続検討となった。

(4) 議題4について

- ・受入れるにあたり食品成分委員会の担当委員のレビューが必要ではないか
 - ・どういった食品を受入れるか、必要な成分項目は何か、成文化したルールが必要
 - ・以前、食品成分委員会において、受入れる際には全ての成分値を揃えるべきとの議論があつて今に至っていたかと思う。成分項目を一部でも良い形に変更するなら、その経緯と理由について整理する必要があるのではないか
 - ・分析値が揃ってない場合には、実績ある分析機関を紹介してデータを揃えさせる方法もある
 - ・収載依頼者に揃えさせる成分データの項目は、食品によって異なる可能性があるの
で、分析前にまずは相談を受ける形がよい
- との意見があり、意見を踏まえた案について、メールで委員に照会することとなった。

II. 部会後の議題2及び議題4の検討について

第66回企画作業部会において継続検討になった議題のうち、議題2及び議題4については、令和4年2月から4月に掛けてメール等により委員からの意見を反映させた案を食品成分委員会でご審議いただくことについて了解を得た。